

105-298

問題文

1. 20%マンニトール300mLを60分かけて点滴静注する。
2. ロキソプロフェンナトリウム錠60mgを内服する。
3. 濃グリセリン・果糖配合製剤500mLを60分かけて点滴静注する。
4. アセタゾラミドナトリウム注射用500mgを静注する。
5. ビレノキシン点眼液0.005%を点眼する。

正解の選択肢が2つあるため、どちらか一方を選べば正解となった問題です。

解答

問298 : 3, 5問299 : 1, 4

解説

問298

選択肢 1 ですが

緑内障なので、眼圧は「高い」と考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,4 ですが

角膜、水晶体については特に混濁する理由が読み取れません。よって、選択肢 2,4 は誤りです。

以上より、正解は 3,5 です。

問299

選択肢 1 は妥当な記述です。

高浸透圧製剤です。房水排出を促し、眼圧低下を促します。

選択肢 2 ですが

頭痛をおさえようという意図と考えられますが、房水排出を優先すべきと考えられます。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

果糖配合製剤を点滴すると急激な血糖上昇のおそれがあり、糖尿病患者には誤った治療法と考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

炭酸脱水酵素阻害薬です。房水産生を減らし、眼圧を減らします。

選択肢 5 ですが

ピノレキシンは白内障進行抑制に用いられる点眼薬です。緑内障発作と診断されているこの患者への使用は適切ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,4 です。